

Our Plan in Cambodia

カンボジアサイド



生産・流通・販売を
すべてワンストップで行う
2015年 1ha → 2016年 70ha



連携



コンソーシアムで勝負！
パートナーが大切！

ジャパンサイド：株式会社 菜々屋



【我々の輸出物】
人材（農家）
モノ（日本製）
カネ（資金）
技術（栽培技術・品質技術
技術・管理技術）

土壌分析・施肥設計
水質検査・残留農薬
J-GAP/Global-GAPの連携

なにかひとつではなく、パッケージ輸出



食の、お医者さん。
SPEC
Bio Laboratory Inc.



カンボジア政府 MAFF等

【カンボジア政府・マーケットと対話していること】

- ▶安心・安全な食品ということはどういうことか？ どういう仕組みが必要か？
- ▶GAPとはなにか？ なぜGAPが必要か？
- ▶政府の役割はなにか？ 民間の役割はなにか？（産官学の考え方）
- ▶ASEANマーケットはどのようになるか、またカンボジアはどうあるべきか？

Global-GAP / J-GAP 日本の農家はどうしていきべきか

資料出典：JGAPより

12万認証農場 うち約8割EU内
(EU農家数677万 出典：農水省)

GLOBALG.A.P.



JGAP

CANADAGAP

FDA

SQF INSTITUTE
One world. One standard.

México GAP

ChileGAP®

2,529認証農場
日本、韓国、台湾



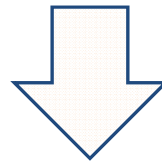
「バイヤーが求めるGAPの認証を取る」というのが世界の常識！
世界には様々なGAPがある。GLOBALGAPだけがGAPというわけではない。どこに輸出するのか、
そこではどのようなGAPを求めているのかを調べてから取り組む必要がある

In the case of Cambodia

輸出に関しての課題

輸出する際に課題が出てくるのは、日本側ではなく、相手国（我々の場合はカンボジア政府）側。

- (問) 「どういった規制があるか？」 → (回答A) 「わからない」
→ 以後返答無し
(回答B) 「担当じゃないから」
→→ 「担当は？」 →→ 「わたしは知らない」
→→→ 「どうすればいい？」 「わからない」
- (問) 「〇〇を輸出したいがどうすればいいか？」 → 「わからない」
→→ 「実際に輸出してみると止まる」
→→→ お金を迫られる。。。



後発後進国の場合、政府としっかり対話しながら「正しい商売」をすること
日本人サイドがもっと、日本の制度を理解し、
日の丸を背負い、相手国と共に正しく協業することが大事